

患者さんの個人情報の保護について

当院では患者さんに対して最良の治療を提供できるように努力しています。治療上、どうしても必要な個人情報をお伺いすることとなります。このような大切な個人情報を保護する目的で、以下の取り組みをしています。

1 治療を目的とした個人情報の利用と共有

- 当院では医師、看護師、その他の職員が取得した情報は、患者さんの診療録等に記載され、最良の治療が行われるために利用されます。
- 個人情報を他の病院の医師に提供し意見を求めることがあります。
- 医療保険事務や外来、病棟管理、会計、経理、医療安全対策、感染対策に利用されます。

2 当院以外の病院・診療所、行政との連携に利用

- 患者さんが継続的によい治療を受けられるよう、診療に関する報告書のコピー、処方箋のコピーなど個人情報に関して、治療を引き継ぐ医師、診療所、病院、訪問看護ステーション、介護施設に提供することがあります。
- 届出指定感染症、がんの免疫学調査等に患者さんの疾患が当てはまる場合には、個人情報の一部が行政機関に報告されます。

3 院外薬局との連携に利用

- 院外薬局に発行する処方箋について、個人情報を利用します。

4 業務委託の場合に利用

- 採血、病理検査等で検査を外部検査機関に委託した場合、検体誤認防止のため個人情報を利用します。

5 審査機関へ提出

- 国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金、労災情報センター等の診療報酬明細書（レセプト）を審査する機関へ診療内容を明示した個人情報を提出します。

6 学会・研究会での利用

- 研究や教育目的で個人情報が、医師、看護師、その他の職員に利用されることがあります。
- 学会・研究会では氏名等の個人を特定できるような情報は一切発表しませんが、患者さんの医療情報を利用する目的で、同意書を書いていただくことがありますので、ご協力ください。

7 実習での利用

- 大学医学部・看護学校・リハビリテーション学校・栄養士学校などの資格者養成実習、中学生・高校生などの職場体験実習に、個人情報を利用する場合があります。

個人情報に関するご相談は受付へお願いします。 責任者：事務部長 大井